

竹の日めくり電波時計

MODEL: T-8656

取扱説明書・保証書付

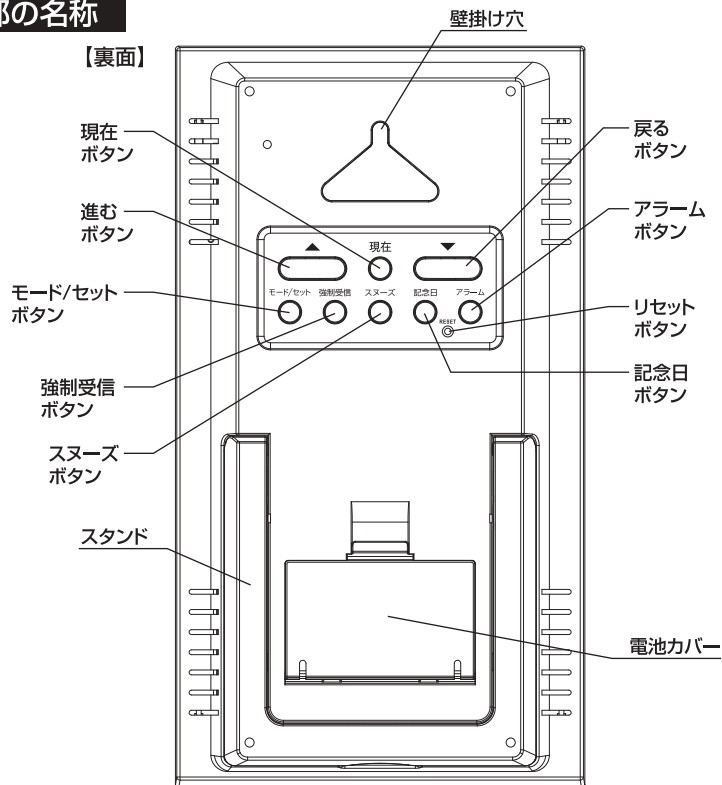
このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用いただく前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願いいたします。また、この取扱説明書(保証書付)はお手元に保存の上、必要に応じてご覧ください。

本製品の特長

昔ながらの日めくりカレンダーを模したデザインの電波時計。

- 時刻合わせ不要の電波時計
- 大きな日付表示で見やすい
- 六曜表示付で日取り決めに便利
- 記念日を設定するとケーキのマークで表示
- 温度、湿度表示付
- アラーム・スヌーズ機能

各部の名称



画面上の記号



電波受信方法

電波自動受信方法

1. 本体裏面の電池フタを開けて、単3乾電池2個を(+)(-)を間違えないように入れてください。(絶縁紙が入っている場合、はずしてください)画面表示が全点灯します。電池フタを元に戻してください。
2. 本体を窓際などでできるだけ電波の受信しやすい場所においてください。電波受信マークが点滅します。
3. 受信が成功した場合は、電波受信マーク が点灯したままになり、日付、時刻が正しく表示されます。受信に失敗した場合は、電波受信マークが消灯し、正しい日付、時刻を表示しません。設置場所、向きなどを変えてもう一度、強制受信ボタンを長押ししてください。(夜間は一般的に受信しやすいです。)

手動での時刻・カレンダーの合わせ方(電波を受信できなかった場合)

●電波を自動受信できなかったときは、手動で時刻・カレンダーを合わせることができます。この場合時計はクォーツ精度で動作します。(電波受信途中はこの操作ができません。強制受信ボタンを長押しして電波受信マークを消灯してください。)

1. モード/セットボタンを長押ししてください。「時」が点滅しますので、▲進む・▼戻るボタンで現在の時に合わせてください。
2. 時を合わせた後、モード/セットボタンを押すと「分」が点滅しますので、▲進む・▼戻るボタンで分を合わせてください。
3. 分を合わせた後、モード/セットボタンを押すと「秒」が点滅しますので、▲進む・▼戻るボタンのどちらかを1回押ししてください。その瞬間から秒表示のカウントが始まります。
4. 秒を合わせた後、モード/セットボタンを押すと西暦の「年」が点滅しますので、▲進む・▼戻るボタンで年を合わせてください。
5. 西暦を合わせた後、モード/セットボタンを押すと「月」が点滅しますので、▲進む・▼戻るボタンで月を合わせてください。(曜日は自動的にセットされます。)
6. 月を合わせた後、モード/セットボタンを押すと「日」が点滅しますので、▲進む・▼戻るボタンで日を合わせてください。

アラームについて

アラーム時刻の設定方法

1. 通常時刻表示の時にモード/セットボタンを1回押しするとアラームモードになります。
2. 次に、モード/セットボタンを長押しすると「時」が点滅するので、アラームを合わせたい時間に▲進む・▼戻るボタンで合わせてください。
3. 再度、モード/セットボタンを押すと「分」が点滅するので、▲進む・▼戻るボタンを押して分をセットしてください。
4. 最後にモード/セットボタンを押すと通常表示に戻ります。
5. アラームボタンを押してアラームマーク を表示させると、アラームがONになります。もう一度押しと解除できます。

設定した時刻にアラームが鳴ったら、アラーム音を止めるのには2つの方法があります

1. アラームが鳴ってる時、スヌーズボタン以外のボタンを押すとアラーム音は止まり、アラームマークは表示されたまま翌日の同時刻に再び鳴ります。
2. スヌーズ機能
アラームが鳴ってる時、スヌーズボタンを押すとアラームマーク が点滅表示され、スヌーズ機能が働き、アラーム音が止まります。約5分後に再びアラーム音が鳴ります。この操作は繰返してできます。

記念日の表示と設定について

記念日を最大18日分設定することができます。

1. 記念日ボタンを押します。記念日設定画面が表示されます。
 2. 記念日ボタンを押して記念日番号(第1~第18)を選択します。
 3. 記念日ボタンを長押しすると「切」が点滅するので、▲進む・▼戻るボタンで「入」を選択します。
 4. 次に記念日ボタンを押すと「月」が点滅するので、▲進む・▼戻るボタンで合わせたい「月」を選択します。
 5. 次に記念日ボタンを押すと「日」が点滅するので、▲進む・▼戻るボタンで合わせたい「日」を選択します。
 6. 記念日ボタンを押すと記念日がセットされます。記念日設定が終了したら、現在ボタンを押して完了です。
- 表示を点滅したままにしておくと約15秒後自動的に通常表示に戻ります。
※2月29日を記念日として設定した場合は、うるう年のみ記念日を表示します。
※記念日は年と時刻の設定はできません。
※設定した記念日を表示させない場合は、上記操作3.で「切」を選択してください。

温度・湿度表示について

湿度表示について

- 同じ室内の中でも風通しのよい空気の循環するところと、部屋の隅のように空気が淀んだところでは、湿度はずいぶん違ってきます。
- このように湿度の測定は、非常に困難なためいずれの湿度計についてもその精度の確保には限界があります。このため検定もおこなわれず政令で定める「家庭用計量器」の指定機種にはなっていません。
※この商品は室内のみでご使用ください。

ご注意

※本製品は工業用計測器として使用する目的で製造されたものではありません。ご使用にあたっては、製品の特性を良くご理解の上お使いください。
※温度・湿度の精度誤差などにより生じる二次災害や損害等については、弊社では一切その責任を負えませんのでご了承ください。

過去・未来の日付、六曜チェックしたい時

カレンダー日付送り機能で過去、未来の日付・六曜がチェックできます。

- ▲進むボタンを押すことで、未来の日付・六曜がチェックできます。
- ▼戻るボタンを押すことで、過去の日付・六曜がチェックできます。
- 現在の日付に戻す時は**現在ボタン**を押してください。

電波クロックについて

●電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

●標準電波とは

福島県の大鷹烏谷山(おおたかどややま)標準電波送信所(周波数40KHz)と、福岡・佐賀県境の羽金山(はがねやま)標準電波送信所(同60KHz)の2ヶ所から常時送信されています。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という超高精度の『セシウム原子時計』によるものです。

●電波受信の条件

受信可能地域の目安は、条件により異なりますが各送信所よりおおむね1000kmです。受信範囲内であっても、地形・建物の影響などによる不受信や天候・設置場所・時計の向き・時間帯により受信できない場合があります。

通常は東日本では東局(周波数40KHz)西日本では西局(同60KHz)の電波がより受信しやすいと考えられています。ただし、地域、地形などの影響により、遠い方の送信所の電波を受信する可能性がありますので、受信に失敗した場合はもう一方の送信所からの電波もお試しください。

※標準電波は、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波される場合があります。

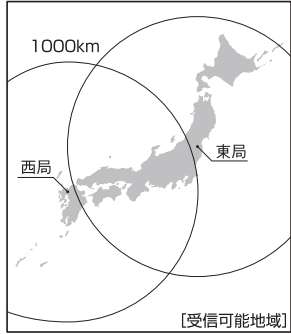
※電波を受信できない場合は、通常のクォーツ時計として月差±40秒の精度で計時します。

●受信に適している場所、不向きな場所・時間帯について

本製品は、AMラジオと同様に内蔵のレシーバーにより電波を受信するものです。できるだけ、電波の受けやすい窓際もしくは時計本体の正面または裏面が送信所の方向に向く場所でご使用下さい。

次のような場所・時間帯では正確に受信できないことがあります。

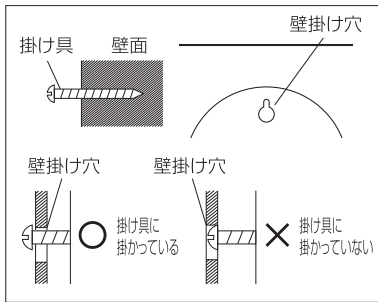
- ①鉄筋・鉄骨の建物の中、ビルの谷間、地下。
- ②電波を受信するのに妨げとなるノイズ(妨害波)の影響を受ける場所。
 - ・交通量の多い所、工事現場、電車の架線、高圧線、電波塔、空港の近く。
 - ・テレビ、インバータエアコン、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器近く。
- ③電波が反射されやすく、受信しづらい場所。
 - ・スチール机などの金属製家具の上や近く、金属を使った壁面。
- ④乗り物の中。(自動車、バス、電車など)
- ⑤その他ラジオが受信しにくい場所など。
- ⑥昼間は生活上のノイズが多く発生するため受信がしづらくなっています。夜間に受信することをおすすめします。



▲ 注意

○時計の掛け方について

1. 掛け具(木ねじ)を使用できる壁面は、木の柱や厚い木質の壁面です。それ以外の石膏ボード、コンクリート、薄いベニヤ板などの壁面には使用できません。掛け具以外のときは、時計を掛ける場所の材質に合い、時計の重量に十分耐えられる市販の掛け具を選んで取り付けてください。
2. 掛け具は時計を掛けるため、ある程度の幅が必要です。掛け具がぐらぐらと動かなくなるまで押し込んで固定してください。
3. 掛け具がしっかり固定されて動かない事を確認の上、裏面の壁掛け穴に掛け具を通して、時計を掛けてください。
4. 壁掛け穴に掛け具が確実に掛かったことを確認するために、時計を上下・左右に軽く動かしてください。
5. 掛け具の止り具合、時計の掛け方が不完全ですと、時計が落下して怪我をしたり、時計が破損する恐れがあります。



電池について

- 使用電池/単3乾電池×2本
 - アラーム・スヌーズ機能は電池の消耗が激しいので、アルカリ電池のご使用をおすすめします。
 - 電池が消耗すると表示が薄くなるなど、正確に作動しなくなりますので、新しい乾電池と交換してください。電池プタを開けて+を正しくセットしてください。
- ※付属の電池は、工場出荷よりテスト用として入れられているモニター電池です。

※電池交換をした時は必ず、リセットボタンにクリップの先などで押して初期設定状態にして、再度時刻のセットをしてください。

●アルカリ電池について

- ①ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- ②万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

●電池について

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えまると、液もれや破裂などのおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- ①⊕⊖を正しく入れてください。
- ②電池を取り替えるときは、指定の新しい電池とすべて交換してください。
- ③この電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- ④電池に直接ハンダ付けしないでください。
- ⑤直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。
- ⑥時計が止まったり、時計を使わないときは、電池をはずしてください。
- ⑦時計に添付の電池は工場出荷時よりつけられていますので、電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

警告

液晶パネルについて

- 液晶パネルが破損した場合、ガラス及び中の液晶には十分に注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
- 皮膚に付着した場合、付着物をふき取り、水で流し、石けんで良く洗浄してください。
- 目に入った場合、きれいな水で良く洗い流し、最低15分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合、きれいな水で良く口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなる場合があります。

使用場所・お手入れ方法

■使用場所

つぎのような所では、使わないでください。

- 温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。
- 温度が+50℃(50度)以上になる所や直射日光が当たる所。例えば、屋外、暖房器具などの熱風や熱が当たる所、そのほか火気に近い所。
- 浴室など湿気の多い所。
- 強い磁気や振動がある所。
- 電波ノイズを発生させるものの近く。

■お手入れ方法

日常の手入れの仕方。

- わくをふくときは、湿ったやわらかい布でふいてください。
- よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾かしてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。
- 殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。

アフターサービス・保証規定

①保証書は、この取扱説明書に付いておりますので必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はご購入の日より1年です。

②修理を依頼される時

〈保証期間中は〉

1. 取扱説明書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に商品と保証書をご持参ご提示いただきお申し付けください。

2. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷

(ロ) お買上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷

(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)等による故障及び損傷

(ニ) 電池交換

(ホ) 本書のご提示がない場合

(ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

〈保証期間を過ぎている時は〉

お買上げの販売店にご相談ください。

③本書は日本国内においてのみ有効です。

④本書は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。